



## 【5年】

卒祝プロジェクトで、お世話になった6年生への感謝の気持ちを伝えるため、メッセージカード作りや放送、集会等を企画、実施しました。どうしたら気持ちを伝えられるかを話し合い、協力して進めました。振り返りには「6年生に喜んでもらえてよかったです」と書いてあり、来年度、最高学年としてがんばろうという気持ちが伝わってきました。



## コミュニティ・スクール（7年目）を振り返って

校長 若狭 茂

本校は「コミュニティ・スクール（CS）」(\*1)として7年目を終えようとしています。

(\*1) コミュニティ・スクールは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることにより (\*2)、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える学校。「地域とともにある学校づくり」を進める法律に基づいた仕組みです。令和4年度から、富山市内のほとんどの小・中学校がCSとなる予定です。

(\*2) 学校運営協議会（保護者や地域の代表の方が参加）を年3回実施、学校評価アンケートを年2回実施し、学校運営に意見を反映させるようにしています。

本校のCSとしての特徴は、2つあります。1つ目は、年2回行う「学校づくり会議」（9月・1月）です。子供たち自身が「よりよい奥田北小学校」を目指して、知恵を出し合います。そのような中から約3年前に生まれたのが『ひまわり憲法』(\*3)です。大人がルールを決めて子供に守らせる、子供たちを受け身にするのではなく、子供たち自身に「よりよい生活のために、何が大切か」を考えるよう促し、思考力や判断力、そして自主性を養うようにしています。

(\*3) 子供たち自身が決めた、子供たちの生活・学習上のルール・約束です。学校の花が「ひまわり」なので、このような名称がついています。

2つ目は、地域の各種団体の皆様と連携して行う体験学習「ひまわり交流会」(\*4)です。本校で6年間過ごすと、次のような様々な体験をしながら成長し、次のステージへ進むことができます。

(\*4) [1年] 昔の遊び体験 [2年] 野菜づくり体験、まち探検 [3年] 福祉に関する体験（点字、手話、盲導犬、車椅子、障害者スポーツ、高齢者疑似体験、高齢者施設訪問 等） [4年] 地域に関する体験（富岩運河学習、水上ライン乗船、奥北音頭、中島獅子舞、地鉄・富山港線乗車 等） [5年] 農業体験（種蒔植え、田植え、稲刈り、脱穀、餅つき） [6年] SDGsや国際理解に関する学習（ユネスコ協会やJICA等と連携） ※コロナ禍で実施できない体験もありました。

1年を振り返ると、本校は、学校と地域の皆様が「一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支える学校」であったと思います。今後は、地域の人材バンク「おくきたまるごと100人バンク」等、地域の方による子供たちへの学習支援（ゲストティーチャー、寄り添い支援等を含む）を進めたいと思います。コロナ禍で制約の多い生活を強いられてはいますが、今後も“地域の宝”でもある奥田北っ子を、共に守り育てていきましょう。

最後になりましたが、登下校の見守り活動では、肌が焦げるような暑い夏の日にも、体の芯まで凍るような冬の日にも、通学路のあちらこちらにライトグリーンやイエローの上着を見かけ、本当に心強く感じました。皆様のご協力を心からありがたく思い、“感謝”的な言葉しかありません。

本当にありがとうございました！

## 【5・6年スキーランド】

2月9日（水）、「あわすのスキー場」にて、スキー学習を行いました。

見上げれば、雪山の白さと青空のコントラストが美しい、まさにスキーワーク。5年生の初心者の子供たちは、緩いスロープやキッズゲレンデで滑る練習をし、午後からはリフトに乗って滑るまでに上達していました。また、スキーを経験したことがある5年生と6年生は、トレイインになって左右に曲がる練習をしたり、上のゲレンデから長い距離を幾度も滑り降りたりして、さらなる技能向上を目指しました。みんな、がんばった満足感いっぱいの笑顔で帰途に着くことができました。

富山に住んでいるからこそ体験できるウインターランドを通じて、子供たちが郷土のよさを感じ取り、郷土を大切にする気持ちを育んでくれることを願っています。

